

復興支援道路《E13 東北中央自動車道》

**東北自動車道と国道4号が東北中央自動車道により接続！**  
**東北中央自動車道「伊達桑折IC～桑折JCT」間が**  
**令和2年8月2日（日）15時00分に開通**

国土交通省が事業を進めてまいりました復興支援道路 東北中央自動車道（相馬～福島）のうち、伊達桑折IC～桑折JCT間 延長2.0kmが、**令和2年8月2日（日）15時00分に開通**することとなりましたので、お知らせします。

また、下記のとおり**開通式典を開催**します。

〈今回の開通による主な整備効果〉

- 地域産業の活性化を支援
- 企業活動の活性化を支援
- 広域観光の活性化を支援

■開通式典

開通式典について、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、一般の方の参加を取りやめ関係者のみで行うこととします。

- 1) 日時：令和2年8月2日（日）11時00分～
- 2) 場所：伊達郡桑折町松原字川原田 地内 桑折JCT料金所  
(別紙：会場案内図参照)
- 3) 主催：福島県・伊達市・桑折町・国土交通省東北地方整備局  
東日本高速道路(株)東北支社
- 4) 次第：挨拶、来賓祝辞、お礼の言葉、テープカット・くす玉開披、  
通り初め 等

また、今回の開通に関連してインターチェンジ名称が決定しましたので、併せてお知らせします。

伊達中央インターチェンジ ← (仮称) 福島保原線インターチェンジ

伊達桑折インターチェンジ ← (仮称) 国道4号インターチェンジ

※インターチェンジ名称については、地元自治体の意見を反映し決定しています。

- ・今回開通する区間は、自動車専用道路となりますので、歩行者、自転車、軽車両、125cc以下の二輪車は通行できません。
- ・開通時間直前の路上駐車は、通行の妨げになりますのでご遠慮願います。
- ・お車でお越しの来賓及びマスコミの方は「別紙：会場案内図」を参照下さい。
- ・報道関係の方は、別添「送信票」による事前申込をお願いします。

＜福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ＞

＜お問い合わせ先＞

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 電話：024-546-4331  
副所長 奥 豊 (内線 205)

# 位置図

## 東北中央自動車道（相馬～福島） 延長45km

今回開通区間

伊達桑折IC～桑折JCT  
2.0km

霊山IC～伊達桑折IC  
10.2km

相馬玉野IC～霊山IC  
17.0km

相馬山上IC～相馬玉野IC  
10.5km

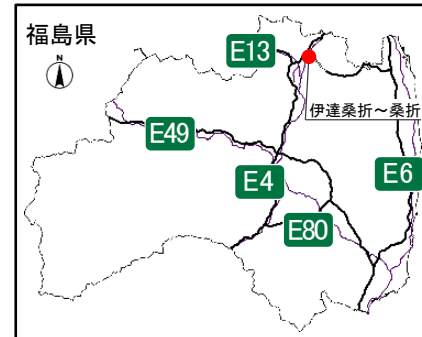
相馬IC～相馬山上IC  
6.0km

R2年度末  
開通予定

H29年度  
(H30.3.10)  
開通

H28年度  
(H29.3.26)  
開通

R元年度  
(R1.12.22)  
開通



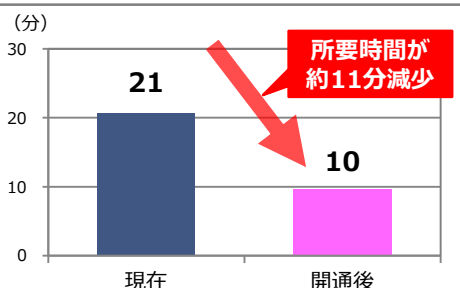
今回開通区間  
開通済  
事業中

# 地域産業の活性化を支援

- 福島県産の桃の全国シェアは、年間取扱量が全国第2位、最盛期の8月は全国第1位。
- 特に伊達市・桑折町を含む福島県県北地域は、県産桃の約9割を生産しており、全国有数の桃の生産地域となっている。
- 桑折JCT～伊達桑折IC間の開通により、東北縦貫自動車道へのアクセス性が向上し、国道4号の渋滞区間を避けたルート選択による速達性・定時性の向上が図られ、地域産業を支援。
- 安定走行が可能な自動車専用道路区間が増えることで、桃の荷傷みリスク軽減による、品質確保も期待。

## ▼所要時間の変化

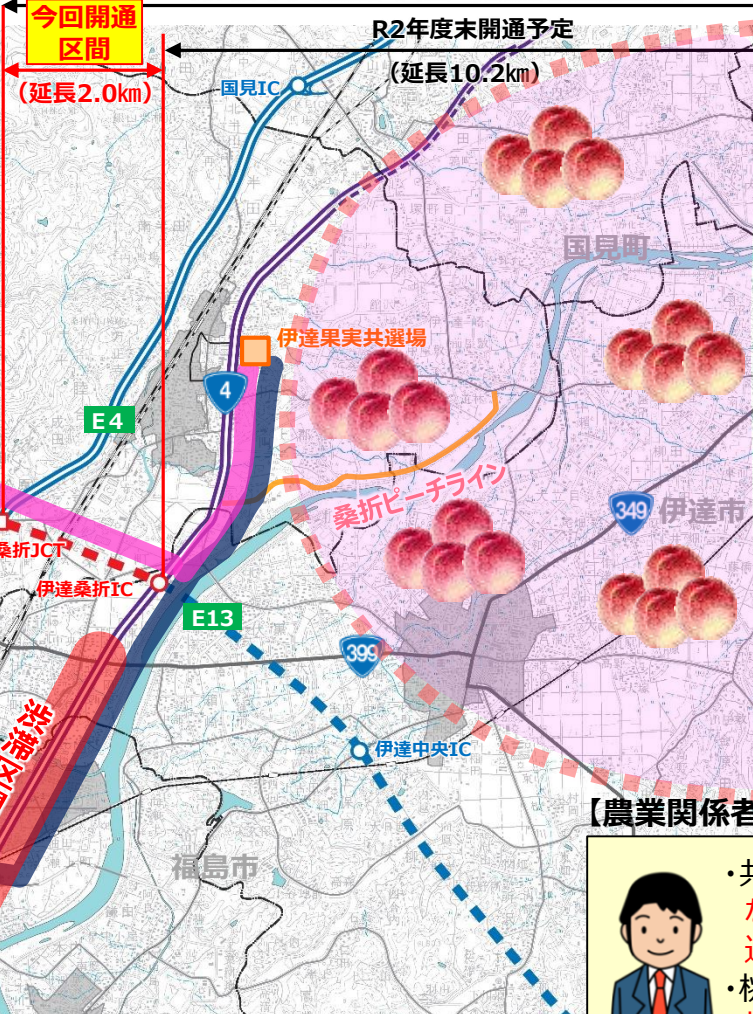
(伊達果実共選場～福島飯坂IC間)



※東北中央道は80km/hで計算

出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 (昼間12時間平均速度を用いて算出)

## 東北中央自動車道 (相馬福島道路)



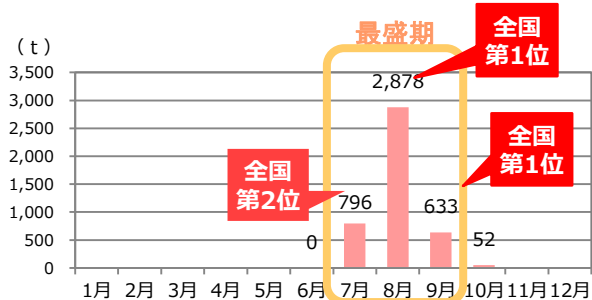
5割強を  
関東圏へ出荷

【凡例：関東への輸送ルート例】

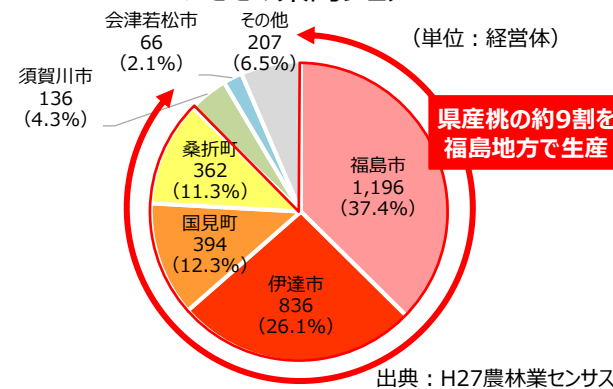
- 開通後のルート
- 現在のルート

※ヒアリング結果を元に作成

## ▼福島県産モモの月別取扱量 (東京卸売市場)



## ▼モモの県内シェア



## 【農業関係者の声】



- ・共選場から最寄りICまでの距離が短くなるため、時間短縮につながるほか、渋滞区間を避けた時間の読みやすい輸送経路を選択できるようになると見られる。
- ・桃は傷みやすいため、輸送時の振動が少ない高速道路区間が増えれば、品質確保につながる可能性もある。

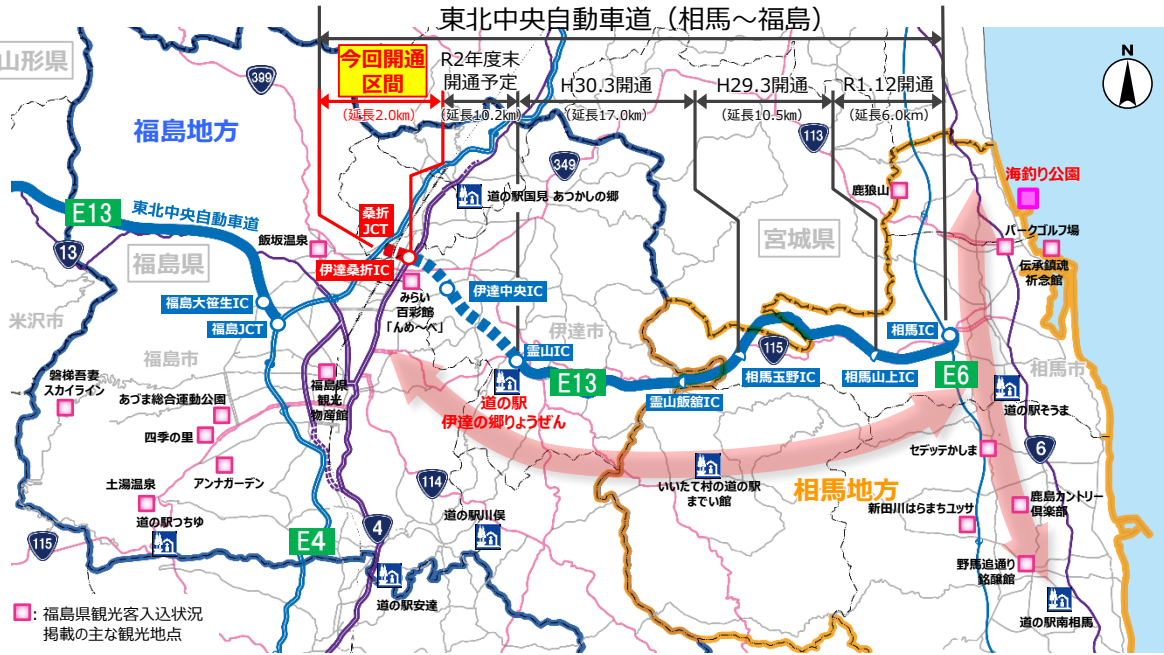
出典：R2伊達果実農業協同組合 ヒアリング調査



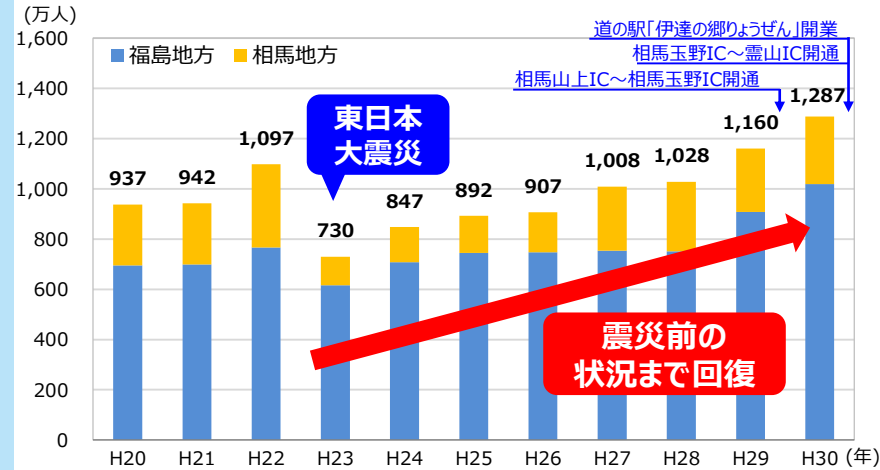


# 広域観光の活性化を支援

- 東日本大震災により落ち込んだ相馬地方、福島地方の観光入込客数は、震災前の状況まで着実に回復。
- 相馬地方の観光地では、中通りや会津方面などから多くの観光客が来訪。
- 福島地方の開通済み区間沿線の道の駅においても、開業時の予想を上回る来訪者数を記録。
- 今回の開通により、観光拠点へのアクセス性が益々向上し、広域観光の更なる活性化を支援。



▼観光入込客数の推移（相馬地方、福島地方）

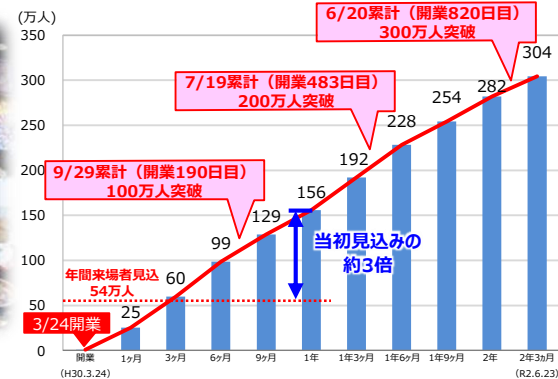


出典：福島県観光客入込状況  
(福島県商工労働部)

## 道の駅 伊達の郷りようぜん（伊達市）

H30.3.24 開業

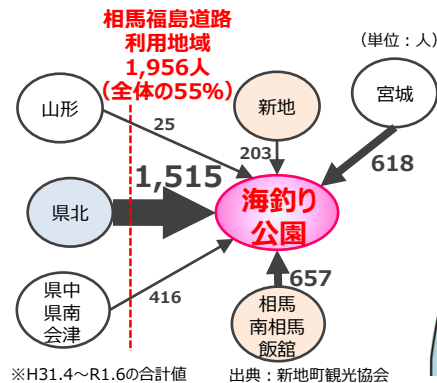
▼道の駅「伊達の郷りようぜん」来訪者数推移（累計）



## 新地町海釣り公園（新地町）

H31.4.19 8年ぶりに再開園

▼開園3ヶ月間の地区別来訪者



出典：海釣り公園管理棟

### 【海釣り公園 関係者の声】

中通りや会津方面からの来場者が多く、東北中央道の整備によって訪れやすくなったといった声を聞いています。

※H31.4～R1.6の合計値

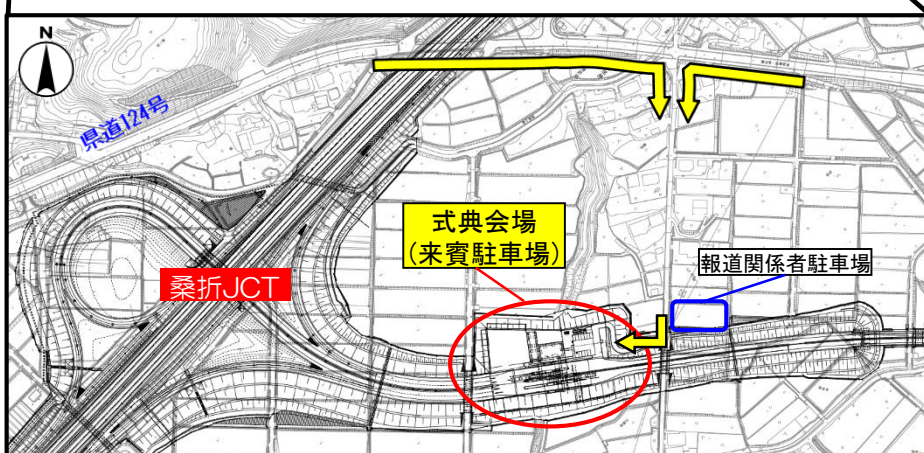
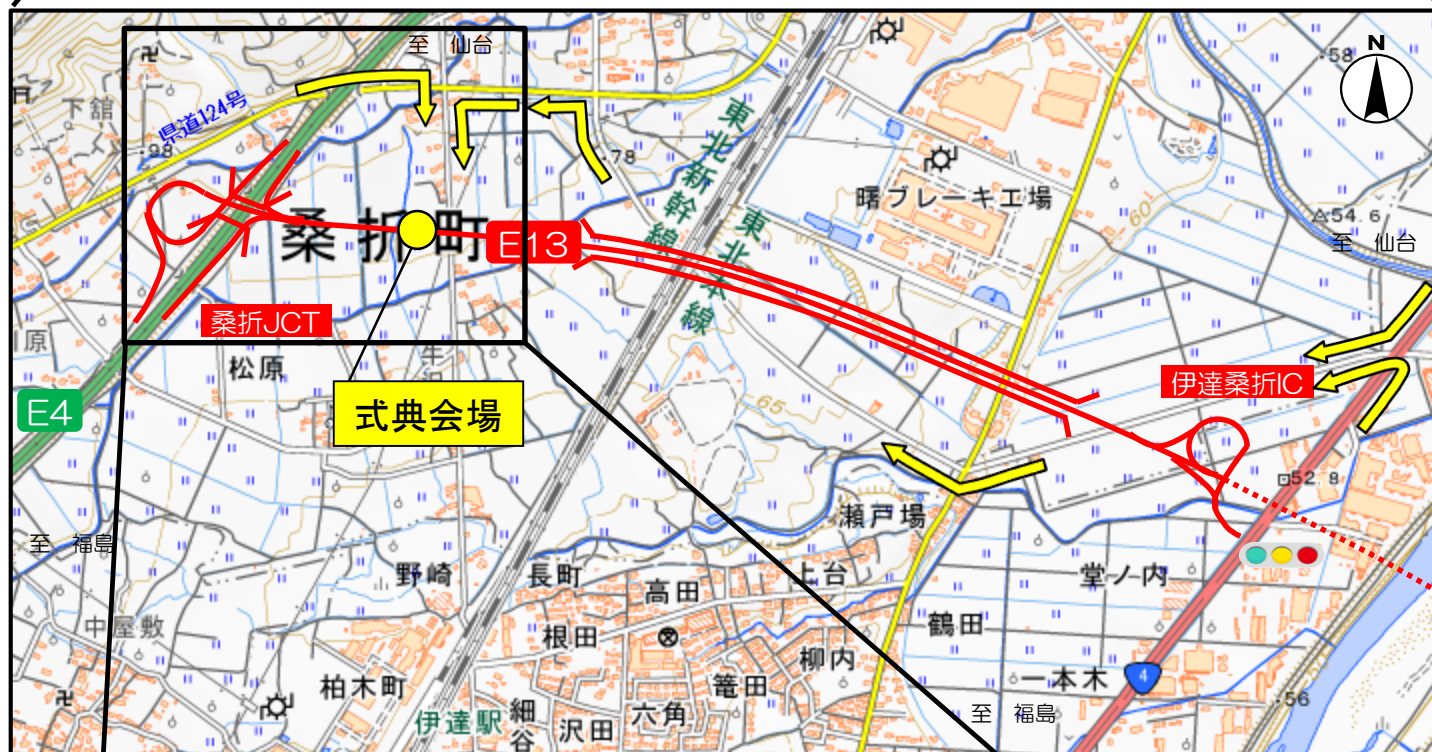
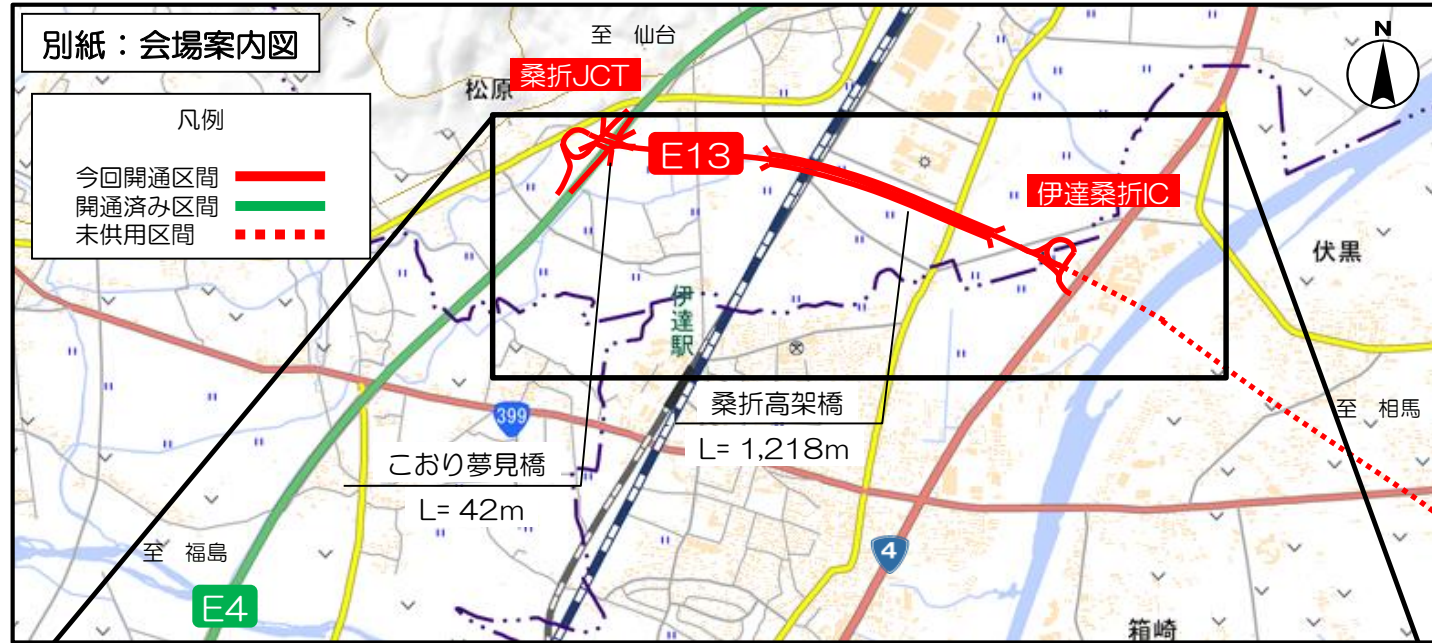
出典：新地町観光協会



別紙：会場案内図

凡例

- 今回開通区間 ——
- 開通済み区間 ——
- 未供用区間 - - - -



出典：地理院地図に会場案内等を追記して掲載